2023年3月6日
在グアテマラ日本国大使館

《ポイント》

- 国内では、6月の総選挙（大統領・副大統領、国会議員、市長・市議会議員、中米議会議員）に向けての候補者登録が引き続き行われた（届出期間：1月20日～3月26日）。
- 大統領選挙についても候補者は出揃っていないが、CID Gallup社が世論調査を行ったところ、スリー・リオス〔バロール党・統一党派連合〕、右派〕が21%で最も支持を集め、これにサンドラ・トーレス〔国民希望党(UNE)、中道左派〕が20%で続く結果となった。
- 経済関係では、矢崎ノースアメリカ社がサン・マルコス県の経済開発特区において、米国向け輸出用のワイヤーハーネス等の自動車部品製造工場を開設し、操業を開始。ジャマテイ大統領も出席した開設式典の様態等、大きく報じられた。
- 外交面では、国連総会緊急特別会合への出席のためニューヨーク訪問中のブカロ外相が、我が国の林外相、ウクライナのクレバ外相との間でそれぞれ二国間会談を行う等、精力的に活動した。
- その他、我が国との関係では、ジャマテイ大統領及びブカロ外相が、当国を訪問した田中JICA理事長の表敬を受け、我が国のこれまでの開発援助に対して深い謝意を表明した。

1 内政・経済

(1) 2022年腐敗認識指数

国際NGO「トランスペアレンシー・インターナショナル」が2022年腐敗認識指数を公開。グアテマラの2022年の腐敗認識指数は100点中24点となり（注：指数が高いほど腐敗が少ない）、過去最低の値となった。各国との比較では180か国中150位で昨年と同位（注：過去最低ランキング）であった。

(2) 2023年大統領選挙：CID Gallup社による世論調査結果

13日、民間調査会社CID Gallupは、2023年グアテマラ大統領選挙（第一回投票：6月25日）に関する世論調査の結果を公表した（実施者：CID Gallup社、データ収集期間：2023年1月24～2月4日、対象者：グアテマラ国内に居住する18歳以上の成人1,200人、形式：携帯電話を通じた質問形式、誤差：±2.8%）。

[質問：あなたは次期大統領選挙の第一回投票（6月25日）で誰に投票しますか。]

[回答]

- ① スリー・リオス〔バロール党・統一党派連合(Valor/Unionista)、右派〕・・・21%
- ② サンドラ・トーレス〔国民希望党(UNE)、中道左派〕・・・・・・・・・・20%
- ③ ロベルト・アルスー〔ポデモス党(Podemos)、右派〕・・・・・・・・・・13%
- ④ エドモンド・ムレット〔カバル党(Cabal)、中道右派〕・・・・・・・・・・10%

- ⑤ テルマ・カブレラ〔国民解放運動党(MLP)、急進左派〕 7%
- ⑥ カルロス・ピネダ〔市民繁栄党(PC)、中道右派〕 3%
- ⑦ ラファエル・エスパダ〔共和党(PR)、右派〕 2%
- ⑧ その他 10%
- ⑨ 無回答 14%

(3) 矢崎ノースアメリカ社のグアテマラにおける工場開設及び操業開始

15日、矢崎ノースアメリカ社は、サン・マルコス県アユトラ市に位置するプエルタ・デル・イスモ経済開発特区（ZDEEP）において、米国向け輸出用のワイヤーハーネス等の自動車部品製造工場の操業を開始した。工場開設式には矢崎総業関係者の他にジャマテイ大統領やロサレス経済大臣、ロドリゲス労働大臣、ポップ当地米大使、本使等多数が出席した。同社関係者は、「グアテマラでの初期投資は1,000万ドル。この新工場では従業員数380人で操業を開始したが（2月15日）、2023年6月末までに1,000人まで拡大する予定である。」と述べた。

(4) 輸出入額の増加

10日の当国中央銀行の発表によると、2022年の輸出額は156.8億ドルで前年比15.2%増加、輸入額は321.2億ドルで前年比20.7%増加した。主要輸出品1位：衣類・繊維製品、2位：食用油脂、3位：コーヒー、4位：バナナ、5位：砂糖。

(5) 海外からの郷里送金額の増加

2022年の海外からの郷里送金額が過去最高となる180.4億ドルを記録し、前年比で18%増加となった。GDP比で19%に相当。

(6) インフレ率

国立統計院（INE）は、2022年12月のインフレ率は9.24%で2008年以降最も高い値を記録し、2015年から2021年の平均3.8%を5.44ポイント上回ったと発表した。

(7) 政策金利の引き上げ調整

インフレ率の上昇を受け、当国金融委員会（JM）は、政策金利の引き上げ調整を行った。2022年中に1.75%から3.75%へ、2023年1月には更に4.25%へ引き上げた。

(8) フィッチ・レーティングス社による当国格付け

16日、フィッチ・レーティングス社（以下、フィッチ社）は、当国の信用格付け評価を「BB-」から「BB」に引き上げ、今後の見通しを「安定的」と発表した。

(9) その他（公衆衛生関連）

ア グアテマラの新型コロナウイルス感染状況

年末年始にかけ感染が拡大したが、2月は感染拡大が比較的落ち着いた。検査実施数が少

ない週末・祝日の一時的な低下を除き、2月上旬の新規感染者数は約500～400件/日で推移したが月末にかけて減少し、2月下旬は約400～300件/日で推移した。

「アラート信号」システム

期間	赤	橙	黄	緑
1月20日～2月5日	1市	129市	210市	0市
2月6日～19日	0市	74市	266市	0市
2月20日～3月5日	0市	55市	285市	0市

注：2020年7月27日から開始された「アラート信号」システムに関する詳細は当館HP (https://www.gt.emb-japan.go.jp/itpr_ja/border20200331.html) を参照。

コロナ専用臨時病院の閉鎖が進められた。サカパ県の臨時病院が最初に閉鎖され、エスクイントラ県臨時病院は母子病院として使用が開始された。グアテマラ市産業パーク内の臨時専用病院は段階的に縮小されており、最終的にグアテマラ市第7地区のサン・ビセンテ病院へ移転する予定。6月にケツアルテナンゴ県臨時病院が閉鎖し臨時病院は全て閉鎖される予定である。

イ サル痘の発生状況

28日、保健省はこれまで合計390例のサル痘患者を確認した旨発表した。うち4例が女性であり、368例の回復が確認された。

2 外交

(1) 米政府「Call to Action」イニシアティブによる中米北部3か国への新規民間投資
6日、カマラ・ハリス米副大統領は、中米北部3か国（グアテマラ、エルサルバドル、ホンジュラス）を対象とした「Call to Action」イニシアティブによる支援として、新たに9.5億米ドルの新規民間投資を確保した旨発表した。同イニシアティブは、中米地域からの不法移民流入の根本原因へ対処することを目的として、民間投資を通じた持続可能な成長の促進を目指す。これにより、2021年3月の同イニシアティブ開始以来47社・団体による42億米ドル以上の投資を同地域に呼び込むこととなった。

(2) 田中JICA理事長のブカロ外相表敬

20日から22日、田中国際協力機構（JICA）理事長が当国を訪問。20日、田中JICA理事長はブカロ外相を表敬訪問し、JICAが日本の政府開発援助の枠組みで果たしてきた役割等につき意見交換を行った。同外相からは、グアテマラにおけるJICAの取り組みに対して深い謝意が表明された。田中理事長は、22日にはジャマテイ大統領への表敬訪問も行った。

(3) 台湾による国立病院建設支援

20日、台湾の支援（無償資金協力：2,250万ドル）で建設された国立チマルテナンゴ病院（チマルテナンゴ県）の引渡式が、ジャマテイ大統領、コマ保健大臣、曹（Tsao）台湾「大使」他が出席する中で盛大に行われた。同式典で台湾政府は、今後も同様の支援を行う意向を表明。台湾は、グアテマラ市の国立サン・ファン・デ・ディオス病院内に母子保健専用病棟の建設事業を実施中。

(4) ウクライナ関連

(ア) 国連緊急特別会合：ウクライナに関する総会決議の採択

23日、当国外務省は、国連総会緊急特別会合において、ウクライナが提出し、当国が共同提案国となった、ウクライナにおける包括的・公正・永続的な平和に関する総会決議案が賛成多数で採択された旨を発表した。

(イ) ウクライナとの外相会談

25日、国連総会緊急特別会合への出席のためニューヨーク訪問中のブカロ外相がクレバ・ウクライナ外相との間で二国間会談を行った。同会談後、クレバ・ウクライナ外相は自身のツイッターを通じて「グアテマラは、ラ米諸国の中で、ウクライナに侵攻したロシアを裁くための特別法廷の設置に向けたイニシアティブに参加した最初の国である」と発信するなどした。

(ウ) ウクライナ外務次官の当国訪問

28日及び3月1日、メルニク・ウクライナ外務次官が当国を訪問し、ジャマテイ大統領やブカロ外相に表敬を行ったほか、パルマ当国外務次官との間で政策協議を行う等した。

(5) 日グアテマラ外相会談

23日、国連総会緊急特別会合の-marginにおいて林外相とブカロ外相による日グアテマラ外相会談が行われた。ブカロ外相より日本からの支援に対する謝意表明があったほか、基本的価値を共有するパートナーとして二国間関係を一層強化していく他、ウクライナ情勢や北朝鮮問題を含む東アジア情勢、国連機能強化、軍縮・不拡散等の国際社会における諸課題についても意見交換を行い、今後とも連携していくことで一致した。

《経済指標》

◇主要経済指標◇	2022年	2023年		2022年	2021年
	12月	1月	2月		
インフレ率（前年同月比）	9.24%	9.69%	未発表	6.89%	4.28%
貿易収支（百万ドル）	△1,642	未発表	未発表	△16,437	△12,987
輸出（百万ドル）	1,286.8	未発表	未発表	15,684.3	13,620.7
輸入（百万ドル）	2,929.6	未発表	未発表	32,121.8	26,607.8
外貨準備高（百万ドル）	20,019.8	20,139.4	未発表	20,019.8	20,939.6
外国からの送金（百万ドル）	1,641.6	1,386.5	未発表	18,040.3	15,295.7
為替レート（対ドル月平均）	7.72	7.85	7.81	7.75	7.73

（出典：中銀、国立統計院）